

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ Support for the aged person and support system for care insurance systemⅠ		1年	前期	別途、時間割表参照
単位数	授業の形態	授業の性格		
2単位	講義	選択 (社会福祉士国家試験受験資格取得必修)		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
山田 昇	講義棟2F	月・木・金9:00～17:00 (授業時間を除く)	授業中に指示します	
授業の概要				
「高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ」では、高齢者の身体的・精神的変化を学習し、高齢者と一人の人間として理解する。また、我が国の高齢者福祉制度の発展を理解し、社会福祉専門職による高齢者への支援の必要性を考える。				
授業の到達目標				
①高齢者の特性と高齢者を取り巻く社会的情勢、福祉・介護需要について理解できるようにする。 ②高齢者保健福祉の発展過程について理解できるようにする。 ③介護保険制度及び高齢者支援の関係法規について理解できるようにする。				
授業の方法				
主に講義形式で進めるが、知識の定着と活用を確認するため演習とその振り返りのレポートの提出を実施する。				
学習の成果				
①現在の高齢者を取り巻く社会を知り、福祉の役割、介護の必要性を理解することができる。 ②高齢期の身体的・精神的変化を理解し、自分の周りにいる高齢者の存在を認め、自らの将来像としても捉えることができる。 ③高齢者が歴史上いつから存在し、捉えられてきたのか、保健福祉関連の制度が整備されてきた過程について理解することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業の目標と進め方、成績評価についての説明、諸注意等） 高齢者の特性① 高齢者の社会的理解			
第2回目	高齢者の特性② 高齢者の身体的理解・精神的理解・総合的理解			
第3回目	少子高齢社会と高齢者（少子高齢社会と社会問題、高齢者を取り巻く諸問題）			
第4回目	高齢者保健福祉の発展① 高齢者保健福祉の起源と生成			
第5回目	高齢者保健福祉の発展② 高齢者保健福祉の制度の発展			
第6回目	高齢者支援の関係法規① 老人福祉法、高齢者の医療の確保に関する法律 レポート作成「高齢者福祉の現状と課題について」			

第7回目	高齢者支援の関連法規② 高齢者虐待防止法、他関連法規
第8回目	介護保険制度① 法成立の経緯と介護保障
第9回目	介護保険制度② 介護保険制度と仕組み
第10回目	介護保険制度③ 介護保険サービスの体系（１）
第11回目	改保護権制度④ 介護保険サービスの体系（２）
第12回目	高齢者を支援する組織と役割
第13回目	高齢者支援の方法と実際①
第14回目	高齢者支援の方法と実際②
第15回目	試験とまとめ
成績評価の方法と基準	
評価の領域	割合 評価の基準
授業参加態度	20% 授業態度、課題や授業コメント等による総合的に判断する
レポート	10% 演習やディスカッション、資料をもとに作成する（学習の振り返りレポートとする）
調査報告書	
小テスト	
中間・学期末試験	70% 論文（記述式）とする
発表内容（態度含む）	
その他	
教科書と参考図書	
新・社会福祉士養成講座「高齢者に対する支援と介護保険制度 第2版」中央法規	
履修上の心得・ルール	
新聞等により 高齢者保健福祉の動向を把握しておくこと	